

令和7年3月定例教育委員会 会議録

- | | | | | | |
|---|------|--|---|--|---|
| 1 | 日 時 | 令和7年3月28日（金） | 開 会 | 午前 | 9時30分 |
| | | | 閉 会 | 午前 | 10時45分 |
| 2 | 会 場 | 茅野市役所 7階705会議室 | | | |
| 3 | 出席委員 | 教育長
教育委員
教育委員 | 山田 利幸
若御子雅英
伊藤 美奈 | 職務代理
教育委員 | 矢島 喜久雄
竹村 節子 |
| | 出席者 | こども部長
こども課長
学校教育課長
文化財課長
生涯学習係長
こども・家庭支援係
教育総務係係長
教育総務係主事 | 五味 正
北澤 賢一
渡辺 雄一
小池 岳史
武居 直樹
両角 和恵
春日 雅彦
小池 智也 | 生涯学習部長
幼児教育課長
生涯学習課長
スポーツ健康課長
こども係長
生涯学習係長
教育総務係主査 | 上田 佳秋
笹岡 俊江
矢嶋 浩行
河西 茂廣
五味 雅美
武居 直樹
畠山 貴行 |
| 4 | 傍聴者 | 2名 | | | |

3 月定例教育委員会次第

日時 令和 7 年 3 月 2 8 日（金）午前 9 時 3 0 分から

場所 市役所 議会棟 大会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第 1 号 教育長報告

第 2 号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第 3 号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

（1）行政財産使用許可について

（2）茅野市部活動地域展開協議会設置要綱について

（3）茅野市スポーツ推進委員の委嘱について

（4）茅野市博物館協議会委員の任命及び茅野市文化財審議委員会委員の
委嘱について

5 検討事項

今回はありません

6 その他

（1）市議会 3 月定例会一般質問について

- (2) 市議会3月定例会議決結果について
- (3) 4月1日付教育委員会事務局職員の人事について
- (4) 尖石縄文文化賞条例施行規則の一部改正について
- (5) 茅野市フリースクール利用料補助金交付要綱について
- (6) スタートカリキュラムの公開について
- (7) 第三期茅野市子ども・子育て支援事業計画について
- (8) その他

次回定例教育委員会日程について

	4月30日(水)	9時30分「701会議室」
(事務局会議	4月17日(木)	13時30分「602会議室」)

7 閉会

○教育長

只今から3月の定例会を始めます。

初めに前回の会議録の承認に入りますが、よろしいでしょうか。

○全委員

異議なし。

○教育長

後程署名をお願いいたします。

まず、1日スポーツ少年団終了式、33の団体の方が出ていただき修了式を行うことができました。

この中で感じたことですが、子どもたちのスポーツをいかに行政や地域で整えていくか、子どものスポーツ環境を作るかが大きな課題と思います。

部活の地域移行も含められるかと思います。後ほど、議会の一般質問の報告の中でも若干触れられるかと思いますが、スポーツ健康課中心に子どもたちの、スポーツ環境、スポーツ体づくりという点で、様々な企画を今まで取り組んできていただいています。

3日玉川小LD等通級指導教室開設打ち合わせがありました。今回、永明小に続き玉川小学校にLD等通級指導教室ができます。平成27年に永明小、今回、玉川小ということになります。原小と共同で運営していくような形で子どもたち、約15名を予定しています。

4日臨時教育委員会、ありがとうございました。

11日社会教育委員の会、今年度の振り返り、反省来年度について話し合ってくださいました。社会教育のあり方も大きく変わり始める時期に入っているかと思います。公民館を含め、また公民館の活動のあり方等も、昨日の公民館運営審議会でも出されましたが、考えていかなければならないところかと思っています。

13日バッハコンクール、かなり権威のある賞ですが、金沢小と長峰中の子が入賞しています。それから空手道全国大会、これは東部中の女性の生徒が参加しています。

15日総合博物館イベントデー、今まで活動された方々が様々なブースを出して説明をしてくださいました。

同日、市民研究員認定証の授与式、今年度は13名の方が認定証を受けることになりました。認定証をもらうには、まず、3年間講座に出たり活動をしなければならない。それから講師の先生の推薦が必要である。あともう1つ活動の時間が何十時間か必要と、これはかなり権威のある賞です。認定証の授与式の後、心に残った言葉が、女性の方ですが「私は茅野市に移住してきて2年になります。初めて茅野市でキノコを見ました。それからキノコについて夢中でキノコ博士になろうと思いました。」って言われました。キノコを見たときにかわいいって思ったそうです。写真のキノコを見てかわいいとかだと思いましたが、そんな言葉が心に残ってます。

18日各小学校の卒業式、ありがとうございました。ロングモント訪問団会食会、これは国際クラブ主催のものになりますがありました。

19日ロングモント訪問団市長・議会表敬訪問、市長主催の会食会がありました。

20日ジョイントコンサート、ありがとうございました。35周年ということで大きな節目になり、ロングモント、茅野の高校生中学生と一緒に活動できて音楽を調べられたという点が、とても素晴らしくよかったと思います。特にその中で私が見ていたのが、一緒にやる中学生の姿なんです。前日1回音合わせを短時間やっただけで、当日、実際はぶっつけ本番なんです。隣にいるロングモントの高校生がいる。それで同じ曲を演奏するっていう中で、1時間半ぐら

いの間にどんどんと姿が変わって成長していく姿を見たときにすごいなと思いました。1例を挙げると、割と日本の中学生の音楽に合わせて表情を出すというのは固いですね。東海の高校生もその辺できています。中学生が1時間半の間に、表情が変わっていき、身振り素振りが出てきて驚いたところです。

21日卒園式、議会が閉会しました。

25日、社会科資料集をいただきました。例年いただいてるものです。若御子さんの会社も載ってらっしゃる冊子になります。今年度は少し強化されました。また見ていただけたらと思います。

27日、公民館運営審議会文化財審議会がありました。

今日、定例教育委員会

31日、市の送別式になります。

以上になります。学校教育課お願いします。

○学校教育課長

学校教育課からお願いいたします。

4月1日火曜日、午前7時40分から8時まで、新任校長辞令交付式着任式が市役所704、705会議室で行われます。交付式が終わった後、教育委員さんにおかれましては、各小学校中学校へ、校長先生とともに着任式に行っていただくことになります。

4月4日金曜日、茅野市立中学校の入学式が午前中ございますので、各市内の中学校でお願いいたします。

同じ日の午後になりますけれども、同じく市内の小学校の入学式になりますので、こちらの対応もお願いいたします。

4月14日になりますが、市町村教委の県施策説明、それから全体会議が諏訪の教育会館でございます。13時15分から15時30分の予定でございます。

4月30日水曜日、4月の教育委員会定例教育委員会がでございます。9時30分から11時まで、市役所の701会議室で行われます。以上であります。

○こども課

こども課からお願いいたします。

4月の行事予定ですけれども、0123広場で開催いたします通常の講座、お話会、相談は表の通りとなっております。

29日火曜日、0123広場にてこいのぼりコンサートを行います。

こども課からは以上になります。

○幼児教育課

幼児教育課からお願いいたします。

4月1日火曜日、公立保育園、信学会どんぐりの森こども園、信学会わかばの森こども園、よこうち認定こども園、野あそび保育ささはらで入園式が行われます。

8日火曜日、ちのせいぼ幼稚園の入園式になります。その他、園長会、調理委員会は、表の通りとなります。以上です。

○生涯学習課長

生涯学習課からお願いいたします。

4月新年度に始まるということで読書関係の行事が始まります。

15日セカンドブック、学校担当者との打ち合わせ会。

17日、転入職員読書研修があります。

26日、子ども読書の日となりますので、特別おはなし会があります。

同日、ロングモント市の関係ですけれども、記念式典並びにジョイントコンサートは本当にありがとうございました。今度は7月の派遣に向けての事業説明会選考会ということになります。11日26日は教育長さんのご出席をお願いいたします。

続きまして図書館ですが、毎月のおはなし会に加えまして、14日から22日まで特別整理の休館となります。

次に中央公民館となります。

各種講座が開催されますが、ロビー店が2ヶ所、山からのメッセージ展、水墨画作品展といったものがあります。

25日、年度初めの定例の会議になりますが合同専門委員会が開催されますので、教育長さんの出席をお願いいたします。

○文化財課長

尖石縄文考古館からですけれども、文化財係とともに行事予定はございません。

ハヶ岳総合博物館と神長官守矢史料館です。

4月1日から始まりますけれども、市民研究員の養成講座です。1期3年で今年度4期が終わって、新たに5期がスタートするということです。

19日土曜日、子どもたちが様々な自然を研究したり科学工作を行う、年間を通してクラブ活動を行う開校式が開催されます。教育長さん開講式でご挨拶をお願いいたします。

26日、神長官守矢史料館で最初の企画展、武田勝頼の時代の古文書の企画展が始まります。

記載を漏らしてしまいましたが、4月2日水曜日、博物館の岳麓文芸館の収蔵品の入れ替えに伴いまして、岳麓文芸館だけ臨時の閉館をいたしますのでよろしくお願いいたします。

文化財課からは以上です。

○スポーツ健康課長

スポーツ健康課になります。

17日、スポーツ推進委員の委嘱書交付式を予定しております。

25日、スポーツリーダーバンク総会。

26日、長野県の市町村対抗駅伝ということで、中学生以上と小学生の2分に渡って行われる予定となっております。以上になります。

○教育長

ご質問ご意見ありますか。よろしいでしょうか。

それぞれ下の行事の提案になりますが、これを見て委員さんたち含め行動することになりますので、正確をお願いいたします。

共催後援関係お願いします。

○生涯学習課長

生涯学習課関連ですが、2月20日から3月11日の受け付け分ということで15件申請があり、すべて承認の方向で処理をしております。以上です。

○スポーツ健康課長

スポーツ健康課の関係、2月21日から3月20日受け付け分になりますけれども、11件の後援申請がございましてすべて承諾としております。以上になります。

○教育長
意見、質問ありますか。

○全委員
なし

○教育長
議案第1号「行政財産使用許可について行政財産の使用許可について」お願いいたします。

○スポーツ健康課長
スポーツ健康課の関係をお願いいたします。
96分の15ページから96分の23ページになります。運動公園内の9ヶ所の自動販売機の設置に関するものです。スポーツ協会の分が14台、それから総合サービスの関係が10台になっております。昨年まで総合サービスではプールに3台設置をしておりましたが、廃止に伴いまして今年はその分が減っているという状況になります。説明は以上になります。

○文化財課長
文化財課からお願いします。
24から29ページになります。一般社団法人ちの観光まちづくり推進機構理事長朝倉祐一様からの申請で、青少年自然の森キャンプファイヤー場がありますけどもその隣になります。
昨年度、市民とともに藤森照信先生監修で古過庵を建てましたけれども、その敷地238.4㎡を4月1日から令和8年の3月31まで借用したいというお願いです。古過庵を拠点にした縄文の体験が本格的に始まるというようなことであります。
文化財課からは以上です。

○幼児教育課長
幼児教育課から3件の申請になります。30ページになります。
宮川保育園の駐車場に電力供給、電気通信のために中部電力パワーグリッド株式会社様から申請がされました。
2件目になります。城山区にあります保育園用地を、緊急避難場所及び区民広場として使用したいため申請がされました。
最後になります。平成28年度に茅野市太陽光発電に係る公共施設屋根貸し事業協定書を締結しておりまして、宮川保育園と豊平保育園の屋根上を使用するため、南信電機株式会社様から申請がされております。いずれの使用期間につきましても1ヶ月を超えるため、行政財産の使用許可についてご審議をよろしくお願いいたします。

○教育長
意見、質問ありますか。

○全委員
なし

○教育長

議案第2号「茅野市部活動地域展開協議会設置要綱について」をお願いします。

○学校教育課長

それでは学校教育課からよろしくお願いします。

茅野市の教育委員会としまして、茅野市部活動地域展開協議会設置要綱を定めたいと考えております。これまで部活動は地域移行というような呼ばれ方をしていましたけども、全国的に地域展開というような表現に変わっております。それでこの設置要綱についてですが、令和8年度4月から新たにどのように地域で展開をしていくのかという仕組みについて、協議を重ねるために設置をしたい組織体の要項になります。

第1条の方から簡単にご説明申し上げます。

第1条設置に関しましては、こういったことを目的にこの協議会を設置するのかということの規定をしています。

第2条検討事項ですが、この協議会における検討内容に関して、規定をしています。

第3条組織に関しましては、この協議会の規模25名以内の委員で組織するということと、どのような委員、構成員にするのかという内容を規定しています。

第4条の任期につきまして委員の任期は1年とするというような規定。

第5条には会長及び副会長を置くこと。

それから、会長副会長の責務に関しまして、職務に限りまして規定をしています。

第6条では会議、協議会の招集方法等を記載しています。

第7条では専門部会、これは会長が特に必要と認めた場合、専門的な事項の検討を重ねるために、専門部会を置くことができるという規定。

第8条庶務は、協議会の庶務は教育委員会が行う。

第9条では補足になりますけれども、この告示に定めるものの他必要な事項は教育委員会が別に定める。

この付則でございますけれども、告示につきましては公布の日から適用したいということがあります。

ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○教育長

質問、意見ありますか。

○全委員

なし

○教育長

議案第3号「スポーツ推進委員の委嘱について」をお願いします。

○スポーツ健康課長

名簿の次のページに若干条文等載っておりますけれども、スポーツ推進委員というのはスポーツ基本法に基づいて委嘱する非常勤の公務員ということになります。できる限り各地区から1人は選出できるような形で選んでいる状況でございます。再任の方が10名、新任の方も2人になります。

このような方を委嘱したいと思っておりますが、ご審議をよろしく願います。

○教育長

意見・質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

議案第4号「博物館協議委員と文化財審議委員会委員の委嘱について」願います。

○文化財課長

博物館協議会は、次回に願います。

文化財審議委員会の委員ですけれども、令和7年4月1日から令和9年3月31日の2年ということで、7名の方にいずれも再任をお願いをしたいと考えております。非常に専門分野が多岐にわたり市の文化財を総合的に見ていただくのに、非常にバランスのとれた方々ではないかと思っておりますので願います。

○教育長

質問、意見ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他1「先月定例会の一般質問の説明市議会3月定例会一般質問について」願います。

○子ども部長

次の資料を願います。

3月定例会の一般質問の要旨についてご説明をさせていただきます。

佐々木美智子議員から質問番号2、子どもを主体とした小学校についての考え方ということで、小項目として3ついただきました。

小項目1、小学校とは子どもにとってどんな場所なのかにつきましては、小学校は人格の形成の場であり生涯にわたり学習する希望が培われるよう基礎的な知識や技能を習得させ、必要な思考力、判断力、表現力、その他の能力を育む重要な場である。とお答えさせていただきました。

小項目2、小学校の役割の変化についてですが、小学校の役割は、基礎的、基本的な学習内容を身につけ探求的な学びを通じて、自ら学び自ら考え主体的に判断できる資質能力を養うと考える。とお答えさせていただきました。

次に小項目3、未来の小学校に求められるものにつきましては、予測困難な時代であるが、基本的に学びにより資質能力を育て、非認知能力を養うことに変わりはない、とお答えさせていただきました。

次に、小尾一郎議員から質問番号3茅野市におけるゼロカーボン推進についてということで、小項目4ついただきましたが、小項目の3、地球温暖化についての事業をどのように行われる

かということにつきまして、学校教育課の方で答弁書を書かせていただきました。答弁は市長も答弁しております。

答弁の内容ですが、市内の学校においては、国の検定を受けた教科書に基づいて、例えば小6の理科では、人と環境という単元の中で、化石燃料と地球の気温の関係について扱っている。

また、中3では、人類の活動と地球環境という中で、地球温暖化について扱っている。と答えさせていただきました。

次に、木村明美委員から質問番号4、地区コミュニティセンターの役割とまちづくりについてということで、小項目3つありますが小項目と1と2につきまして、こども課の方で回答を書かせていただきました。答弁を市長も答弁しております。

まず、小項目の1、コミュニティセンターが担う機能の現状についての質問の中で、こども館の利用状況について説明質問がありましたので地区こども館の合計、年間利用者数は令和元年が9万9,314人、令和5年は4万9,393人とお答えさせていただいて、小項目2、コミュニティセンターのあり方につきましては、地区こども館は、地域の子育て拠点として、平成15年から16年に成長しました。開館から20年余りが経過し、未就園児親子の利用者、子どもと地域の方との交流の場の利用は当初よりも少なくなっており、地域の子育て拠点としての運営は、活発に行われなくなっている。

現在は放課後、小学生のお迎えの場の役割が強くなっていると答えさせていただき、今後こども館のあり方を検討すると答えさせていただきました。

○生涯学習部長

続きまして木村明美議員から、茅野市が取り組むスポーツ振興について、4つの小項目のご質問があり、回答をさせていただきました。

まず、小項目1点目、健康増進におけるスポーツ振興の考え方についてでございます。茅野市スポーツ推進計画では、幼児期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツ活動を推薦している。市民1スポーツをキャッチフレーズにすべての市民の生涯にわたって、心身ともに健康で幸福な生活を営めることを目標に取り組んでいる。と答えさせていただきました。

2点目、スポーツ推進計画に基づき、現在の取り組みについて、幼児、小学生障害ある子どもを対象とした各種教室は息の長い活動となっている他、昨年初めての取り組みとして、元トップアスリートを講師に迎え、子どもを対象とした運営スポーツイベントを開催した。と答えさせていただきました。

3点目、スポーツ協会の役割についてでございます。

地域スポーツの振興を目的に、一般向けの各種教室講習会や市民スポーツ祭の開催の他、競技力向上のための取り組みの一環として、優秀選手や団体の表彰指導者の育成講座、主に子どもを対象としたスポーツ体験実践発表会の開催により、スポーツを通じて得た体験など多くの仲間と共有し、スポーツに取り組む意欲を高める場を設けている。といたしました。

4点目、市民への健康増進の今後の取り組みについて、スポーツ協会等の団体の支援を継続するとともに、中央公民館など、市の関係部署と連携をとりながら健康増進のための事業に取り組んでいきたい。併せてスポーツ推進委員スポーツリーダーにより行われている地域の身近な中で、スポーツや運動等実の普及活動について継続して取り組んでいく。といたしました。

○こども部長

続いて、伊藤勝議員から質問番号15、学校給食における地産地消の取り組みについて、ということで小項目を3ついただいております。

まず、小項目の1、生産者の育成についてということで、新たに市で就農する若者が徐々に増えていますが、直ちに学校給食に食材を提供できる状況ではない。

教育委員会ではこうした若者を含めた新たな地域の生産者の育成が進み、学校給食の食材提供者の輪が広がることを期待する。と答えさせていただきました。

次に、小項目の2、有機栽培野菜への活用状況について、につきましては学校給食への生鮮野菜の使用状況は地場産団体が全体の約2割であり、地場産団体からは低農薬にこだわった旬の野菜を提供してもらっていますが、有機栽培野菜は供給量、規格、価格などが課題となり、定期的に活用のない状況である。と答えさせていただきました。

次に、小項目の3、代金や運搬費の考え方につきましては、地場産団体へは、学校栄養士から価格面で無理のないよう呼びかけをさせていただき、食材とは別に手数料と運搬費を請求してもらっております。

これからの学校給食に、旬の地場産野菜を活用した質の高い給食を提供し続けたい。と、お答えさせていただきました。

次に、梯康弘議員から質問番号16、茅野市DX基本計画について、ということで小項目を5つありますが、小項目の2、子育て教育分野における地域DXの推進について、担当課の方で、答弁書を作成させていただき、市長から答弁をさせていただきました。

答弁の内容ですが、園ではキッズビューを令和4年3月に導入しまして、保護者は電話で今まで行っていました欠席連絡をアプリで行うことができるようになり、時間に関係なく連絡ができるようになりました。

園は、園児の出席確認をタブレット端末でリアルに確認できている状況になっております。

また、園からの予約を即時に配信でき、インフルエンザ等クラス閉鎖など、不審者情報等の連絡、緊急連絡を素早く周知でき、コロナ禍にも有効に機能した。

また、園からの便りをデータで配信することによりまして、保護者は毎月の行事や献立をスマホで確認できるようになっておりますし、保育園では勤務時間の事務時間を削減、そして紙の削減につながっている。

また、学校では、新型コロナ感染防止対策として当時、毎日登校前の保護者が体温等を図りまして紙で健康観察シートを学校に提出していましたが、令和4年1月に健康観察アプリリバーを導入しましてデジタル化としました。

リバーによりまして出欠席の連絡等、紙の体調管理の提出がなくなり、また学校に行けないなどの行きしぶりにつきましても、気軽に連絡ができるようになった。と答えさせていただきました。

○生涯学習部長

続きまして両角直樹議員から、公共施設等の使用料改定について、6項目の質問をいただきました。

このうち、6点目、子育て世帯からの要望が強い小学生の施設使用料の減免について、担当課の方で作成をし、市長の方から答弁をさせていただきました。

小学生をはじめとする子どもたちの利用について、負担軽減の観点からどのような措置が可能かを慎重に検討している。

現在、減額、免除の対象や適用方法について整理を進めており、特に子育て世代からの要望が強い施設につきましては、利用促進の観点も含めた検討を行うことが必要である。と答えさせていただきました。

○こども部長

続いて、木村かほり議員から質問番号21、パートナーシップのまちづくりの再構築の見通しについて、ということで小項目3ついただいておりますが、小項目の2、子どもに関する民間

団体の支援について、こども課で答弁書を書かせていただき市長から答弁をしていただきました。

答弁の内容ですが、市は子ども食堂に補助金を交付しており、令和6年度は7団体から申請がありましたが、市の補助金等に関する基本指針に基づきまして、補助内容の検討を現在行っています。

他の支援としては、市と各団体同士の情報共有の機会を設けまして、フードドライブに寄せられた食材などを、各団体へ提供している。と答えさせていただきました。

最後に、同じく木村かほり議員から質問番号22、中学卒業後の子どもを含む不登校支援の取り組みについて、ということで小項目を3点いただいております。

まず、小項目のうち、不登校の相談窓口支援体制について、につきましては、育ちあいのちに相談があった場合には、チームで支援方針などを検討しまして担当職員や支援方法を決定しています。

令和5年9月に市とすべての小中学校内に、不登校や児童生徒同士の関わり合いの相談支援を中心とする、子どもサポートセンターを設置しまして、保護者が様々な負担などを相談し、児童生徒が学校生活や友人関係の不安などを相談する窓口となっております。

不登校になるおそれへの支援体制につきましては、福祉的支援、心理的支援、教育的支援など様々な支援の観点をもって、支援する体制を整備しております。

不登校児童生徒の学びの関係としましては、小学校のフレンドリールーム、中学校のまなざしを設置しております。

小項目の2、民間との連携の取り組みにつきましては、市の不登校児童生徒は減少しつつありますが、全国的には依然として増加傾向にあります。

今年度新たに市内の児童生徒の通う近隣市町村内の民間フリースクールと不登校親の会、学校長とサポートコーディネーターが一堂に会しまして、不登校児童生徒支援者連絡会を3回開催いたしました。フリースクール等の1日の日程や、普段、児童生徒がどのように過ごしているかなどを情報共有しております。

最後に、小項目の3、中学卒業後の不登校支援の現状につきましては、中学卒業直前には、相談方法を記載したポケットサービスのカードを配布しまして、卒業後の身近な相談窓口として、育ちあいのちを知らせしております。

中学卒業後の不登校支援につきましては、小中学校の支援と同様に様々な背景があるため、まずは個別の状況を把握しまして、育ちあいのちの職員が状況に応じて、民間事業者と連携しまして支援をしている状況。と答えさせていただきました。

一般質問の要旨につきましては以上でございます。

○教育長

意見、質問ありますか

○竹村委員

15番の学校給食における地産地消の取り組みについては、具体的に窓口はどちらになりますか。

○こども部長

学校給食ですので学校教育課が窓口になりますが、すべての小中学校に栄養士を配置しておりますので、栄養士、また栄養士会の方で中心となって、学校給食については進めております。

○竹村委員

地域の方が、このような形で取り組みしたいという相談、提案については、どちらへ持っていけばよろしいでしょうか。

○こども部長

それぞれの学校栄養士がまず窓口になるかと考えております。また、今回一般質問の中で再質問で答えさせていただきましたが、地場産団体、食材を提供していただける方が大分お年を召して減少傾向にあるような状況になりますので、学校の中でのキャリア教育の一環として農業が今まで抜けていたということで、先月の教育委員会の定例教育委員会の中でもお話をさせていただきましたが、子どもたちが地域に出向いて行って農業についても学ぶ体験をするなどの活動をする中で、地域の皆さんとの関わりを作って、子どもたちに対して協力していただける方を増やしていきたいということでお答えをさせていただいております。

○竹村委員

それぞれの地域がそれぞれの学校に相談したり、提案すればいいと思いますが、総括して見られているのはどちらになりますか。

○こども部長

市の中の学校給食になりますので、学校教育課。もしくは、幼児教育課にそれぞれ栄養士がおりますので、総合的な窓口はそれぞれの担当課になるかと思っております。

○竹村委員

わかりました。地域との繋がりが上手くでき、質の高い給食が提供できたらいいと思います。ありがとうございました。

○教育長

地場産団体の方々との連絡教育については学校によって違いがありますが、大体年に3回地場産団体の方と協議を行い、どんな食材が欲しいか、来月、来年度について話し合いがされます。

米沢の場合は、米沢米の団体の方と連絡取り合っております。

他にありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他2「市議会3月定例会議決結果について」お願いします。

○こども部長

次の資料、その他の2になります。

市議会3月定例会の議決結果につきまして、3月定例会につきましては3月21日に閉会をしました。市が提出をしました議案はすべて可決、同意をされております。

教育委員会に関係します議案につきましては議案第10号、19号、20号、28号、29号、38号、39号となります。

なお、議案38号、39号につきましては、先月の定例教育委員会ではご説明をしておりません。

こちらにつきましては、わかば保育園とどんぐり保育園の運営主体が信学会に変更になります。この2につきましては市の土地を無償貸し付けしているような契約を結んでおりますので、その契約の相手方を変更するために、議会の議決を求めたものでございますのでよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○教育長

意見、質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他3「4月1日付教育委員会事務局職員の人事について」お願いします。

○生涯学習部長

それではまず、生涯学習部の関係からお話をさせていただきます。

その他3の資料ですが、まず、私の後任として、生涯学習部長に小池岳史さん、現在の文化財課長が着任いたします。

続きまして、その下4番目になります。湯田坂 幹雄さんですが、税務課から新たに文化財課長に着任いたします。

その下、上条 直之さんですが、茅野市総合サービスからスポーツ健康課長に着任をいたします。

今度は転出される課長さんですけれど、河西 茂広さんが選挙管理委員会の方へ参ります。

続いて、松田 剛史さんですが、現在スポーツ健康係長から財政課財政係長へ転出されます。

次に五味 雅美さんですが、現在こども部こども係長ですが、中央公民館の教育係長へ、異動となります。

その下、笠原 直弘さんですが、防災係からスポーツ健康課スポーツ健康係長へ異動となっております。

その下、五味 俊英さんですが、観光課観光係観光振興担当からスポーツ健康課スポーツ健康係施設整備担当に異動となっております。

2ページ目になります。スポーツ健康課スポーツ健康係施設担当、立木 邦弘さんですが、税務課収税係へ転出となっております。

私、上田ですが再任用で、4月1日から市民環境部リサイクルセンター業務係の方へ着任予定でございます。以上でございます。

○こども部長

こども部からお願いをいたします。

上に戻っていただきまして、上からお2人目、秘書広聴課長の国枝 准也さんですが、健康づくり推進課長になりますが、子ども家庭センターの次長を兼務しておりますので、お願いをいたします。

その下、こども課子ども家庭支援係長の両角 和恵さんですが、こども課長に昇任でございますので、お願いをいたします。

その下、3人目に見えますが北澤 賢一さん、現在のこども課長でございますが、ここで人

事異動で議会事務局事象に異動でございます。

その3つ下になります。幼児教育課保育総務係長の田中美和さんですが、中大塩地区コミュニティセンターの所長に異動でございます。コミュニティセンターの所長につきましては、中央公民館中大塩地区公民館の参事という役職もありますので、教育委員会からも内示が出る状況になります。

その下、総務課の人事育成担当の野明係長ですが、ここで、こども係長に異動でございます。

その下、幼児教育課幼児教育係長の山本 貢史さん、課内で異動で幼児教育課保育総務係長に異動でございます。

その下、金井 美代子さん、山本係長の後任として諏訪広域連合の介護保険課から、幼児教育課幼児教育係長に異動でございます。

その下、3人下になりますが白鳥 晴美さん。こども家庭相談係のこども家庭相談担当、担当職の係長でございますが、ここで、北部保健福祉サービスセンターに異動でございます。

その下、國枝 真樹さん、パートナーシップのまちづくり推進課から、こども課こども・家庭支援係の係長として異動でございます。

その下、主査以下の職員につきましてはご覧をいただいた通りになりますが若干飛んでいたいて、保育士の異動内示のページをお願いいたします。

96分の54ページになりますが、まず一番上、篠原 ルミさんでございますが、ちの保育園の園長からこども部こども課のやまびこ園の園長に異動でございます。

その下、湯田坂 美穂さんでございますが、米沢保育園長から幼児教育課の保育指導担当ということで、課付の職員になります。

その他につきましては、園長のそれぞれの人事異動、または保育士の異動になりますので、ご覧いただければと思います。

その次のページになりますが、教育指導主事、教育支援指導主事の任命予定者ということで、6名の方を考えさせていただいてございます。

現在、任用させていただいてる6名の先生、来年度につきましてもまた、ご尽力いただきたいと考えておりますのでお願いいたします。

○教育長

その他4「尖石縄文文化賞条例施行規則の一部改正について」お願いします。

○文化財課長

それでは尖石の関係をお願いします。どうぞよろしくをお願いします。

先月の定例教育委員会で尖石縄文文化賞条例施行規則を、教育委員会の規則であったものを廃止するということで、お認めをいただいたところです。3月議会に上程した縄文文化賞の条例の一部改正と連動するところがありますので、最初に尖石縄文文化賞条例の一部を改正したことについてご説明をしたいと思います。

ページが57から66ページで、まず59ページをご覧いただきたいと思います。尖石縄文文化賞の条例を一部改正する条例ということで、ポイントは条例文中にある縄文時代を縄文文化に変えます、という点です。

それと、これまでは研究というように書いてありましたが、研究だけでなく振興という言葉を加えたところが、縄文文化賞条例の一部改正のポイントになってきます。

まず、縄文時代を縄文文化に変えたという理由ですけれども、縄文時代の前には旧石器時代があって、縄文の後には弥生時代がある。それが延々と続いているわけです。

それで、旧石器だとか弥生という前後の文化の研究から、縄文文化の特徴をより鮮明にする

ことができるというようなことです。

縄文時代としてしまうと、研究がすごく限定的なものになってしまうので、縄文文化という言葉にするのがふさわしいということで一部変えました。

それと振興を加えた理由です。こちらをご覧くださいだと思います。

本年度の縄文文化賞を受賞された方は、小川忠博さんというフリーカメラマンです。

土器の周りをぐるっとカメラを回し展開写真を撮って、特に芸術作品ではなく、文様をしつかりと撮影をするというようなことであります。

純粋な縄文文化の研究者ではありませんが、撮影されたこの展開写真を通して、土器を研究する人に非常に有益な資料を提供したということが1つ受賞の理由になっています。

それだけではなくて、この写真に魅了された多くの人たちがいます。縄文ファンの心をとらえ、また新たなファンを生み出すということに大きく貢献しました。縄文文化を広く知らしめる意味で、これを振興という言葉に置き換えて加えることにしました。

それと、縄文文化賞の選考委員会において、縄文文化の研究をあくまでもベースにした振興にもっと目を向けるべきではないかという、委員からのご提言もありまして、ここで振興を加えたというようなことになっております。

このような背景があり、縄文文化賞条例の施行規則を、一部文言を加えたわけです。

縄文文化条例の施行規則をご覧くださいなのですが、ページで言うと61ページになっております。

第6条の第1項の第3号ですけれど、この第3号を新たに加えました。

先ほどご説明しましたけれども、芸術活動や展示活動等を通じて、縄文文化の普及及び発信というところが振興という意味合いです。

貢献のあった個人または団体であるということを加えました。

その数行下ですけれども、第4項になります。今申し上げた第1項第3号に規定する普及及び発信の業績は縄文文化に関する考古資料を扱った出版物。写真出力と電子的記録媒体を含む諸活動等をするというものも加え、この施行規則中にある縄文時代を縄文文化に改めたということです。

この施行規則は、これまでは教育委員会の規則でしたが、縄文文化賞の諮問機関である縄文文化賞選考委員会が、市長の諮問機関であるということが条例で定められておりまして、これまでこの施行規則は教育委員会の規則だったわけです。ちょっとねじれがあったということもありまして、条例の一部改正に合わせ、教育委員会の規則を廃止し、新たに市の規則に改正するのが良いということになりましたので、ご報告をいたします。以上です。

○教育長

意見、質問ありますか。

○竹村委員

意見ではありませんが、県外の方だけでなく茅野市の一般の人たちにも、このような賞を受賞したり、縄文文化のすばらしさが浸透していくようなになればいいなという感想です。

○教育長

他に意見・質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他5「茅野市フリースクール利用料補助金交付要綱について」をお願いします。

○学校教育課長

それでは、茅野市フリースクール利用料補助金交付要綱を次に定めるということで、このことにつきましては、本年4月1日から施行をする要綱になりますけれども、このことについてご報告を申し上げます。

長野県では、令和6年の4月に信州型フリースクール認証制度という制度を立ち上げました。この中で、子どもたちの多様性に富んだ学びを提供するフリースクールなどの民間施設に対して、県が認めた施設に対しては必要な支援を行っていくという姿勢を県が示しています。具体的に県は、この施設の運営に関しての支援をしていくもの。そこに通うお子さん、また、その世帯についての支援というものは、具体的に組み立てをしていないというところでは。

県内の各市町村においては、フリースクールと民間施設に通所するお子さんの家庭世帯に対して、通所に関わる利用料の一部を負担するというような動きが展開されております。

茅野市におきましても、その利用料に関する支援を4月1日から行っていくという内容の決め事、要綱になります。

一条から細かく説明していけばいいんですが概要についてお示ししますと、この民間のフリースクールを利用しますと、その世帯は平均的に月に3万3000円程度かかるというふうに言われています。隣町の諏訪市でも、このフリースクールの利用料については、昨年から補助をしています。茅野市におきましては、条項で言いますと第4条、補助金の対象経費等というところでございます。フリースクールを利用するために、補助対象者が負担した利用料に対して補助していくんですけども、その額につきましては次の第五条、対象児童生徒1人につき各月分の補助対象経費の2分の1以内。こちらの調べでは、今茅野市のお子さんたちで通っておられる方々の平均は概ね3万円程度かかるということで、半分の2分の1。1万5000円を上限とさせていただいています。

それから、第3条には補助対象者というのがあります。どういった方々を補助していくのかというところでは、市内に住所を有するものであって、茅野市要保護及び準要保護児童生徒援助費支援要綱に基づいて、すでに就学援助を受けている者。いわゆる、収入の中でも限度を設けているということです。

この考え方は、フリースクール利用料の補助は就学援助に当たるという考え方から、これまでに行っている学用品費や修学旅行などに係る補助基準と同様に、フリースクールについても支援をしていくというものであります。まずは、この4月1日からはその考えを持って、支援を行います。

あと後段の方のページについては、手続きの話になってきますので、補助対象者と我々市が結ぶべき書類のやりとりの規定になりますので、また、ご確認いただきたいと思います。

以上、説明になります。

○教育長

意見・質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他6「スタートカリキュラムの公開について」をお願いします。

○学校教育課長

次の資料になります。スタートカリキュラムでございますけれども、永明小学校から順に公開の予定を掲載してございますけれども、本年もそのような予定で各小学校において、その学区内の園の生徒たちとの学びについて、確認をしていくというような日程でございます。ご都合のつく日にご出席をいただけましたらという内容でございます。

以上です。

○教育長

意見・質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他7「第三期茅野市子ども・子育て支援事業計画について」をお願いします。

○幼児教育課長

それでは幼児教育課からお願いします。77ページになります。

今回は概要版にて説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

この計画ですけれども、国の子ども・子育て支援法に基づく法定計画になっておりまして、市町村が5年に1期とする支援事業計画を策定することが義務づけられています。

茅野市におきましては、この具体的な事業の取り組みの部分につきましては、子ども家庭応援計画、通称どんぐりプランの中で位置付けをしておりますので、今回の計画は子育て支援の量の確保、また、支援の質の向上を目指し、子育てを行うすべての家庭を地域や社会全体で支えていく環境の整備を目的としまして支援事業を実施していくために、潜在的なニーズのみならず、将来的に利用する人や利用したい人たちも含めて、数を確保する需給計画となっております。

今期までは、子育て支援、保育料の無償化、また、放課後対策のあり方について取り組んで参りました。

第3期につきましては、地域の子ども子育て支援事業の一層の充実強化と引き続き、質の高い幼児期の学校教育保育の提供の推進に取り組んで参ります。

算定方法につきましては、国が示しました量の見込みの算出の考え方等のガイドラインを参考に、現在利用している保護者、未就園児の保護者へのニーズ調査、また、将来人口推計、現在実施している事業の実績等を踏まえまして、保護者や社会ニーズに応じた今後5年間の量の見込み、需要量と確保方策、供給量を算出しました。

続きまして、主な実施事業一覧になります。この計画は大きく3つの柱に分かれて計画が立てられています。

1つ目としましては、幼児教育の学校教育、保育の量の見込みです。こちらは保育園等における保育の提供の確保の数になります。現在、市内の保育園、認定こども園で全員の受け入れが可能となっております。

2つ目としまして地域子育て地区子ども子育て支援事業になります。1から16までの16項目の事業となります。この16項目の1番から10番、また16番につきましては、第二期の計画から

引き続き実施する事業となります。

今回新たに追加された事業について、若干説明をさせていただきます。資料の右側をご覧ください。

まず、子ども子育て支援法の改正によりまして、11番の妊産婦や、その配偶者に対して相談に応じ、そのニーズに応じた支援を行う妊産婦等包括支援相談事業と、12番の産後ケア事業、出産の母子に対してケアを行う事業になります。

また、乳児等通園支援事業、こちら、こども誰でも通園制度になりまして、未就学未就園児の子どもを、月一定期間までの利用枠の中で保育施設に預けることの制度です。

こちらにつきましては、令和8年度からの実施になりますので、現在、施設及び保育体制を整え、また、施行している自治体の事例も参考にしながら、実施をしていきたいと考えておりますので、実施内容が固まりましたらこの計画に盛り込む予定でおります。

また、児童福祉法の改正によりまして、13番の子育て世帯訪問支援事業、こちらは第2期までは、9番の養育支援事業の中で、専門的支援と、家事支援の両方を実施しておりますが、養育環境に課題を抱える家庭や、ヤングケアラーがいる家庭への支援の充実が今求められていることから、養育支援事業は乳児にいる家庭において、養育支援が必要な家庭を、保健師や助産婦による専門的支援と、家事や子育てを支援する家事支援に分けて、事業を実施することとなりました。

また、14番は児童家庭支援を行う事業所において、養育環境等に課題を抱える家庭や居場所になる児童に対してサポートを行う児童育成支援拠点事業と、15番は、親同士が子どもの発達や頃建てについてお互いに支え合える場所を提供する親子関係形成支援事業が追加されました。

最後に3つ目です。総合的な子どもの放課後対策の推進です。

こちらは放課後児童健全育成事業、放課後子ども教室の事業になります。子ども教室の具体的な取り組みについては現在、市で行っている子どもの居場所の検討を進めていく中で、具体的な取り組みを考えていきます。こちらの実施内容がまとまりましたら、この計画に盛り込む予定になっております。

事業の説明は以上となります。

○教育長

意見・質問ありますか。

○竹村委員

他の児童支援員の資格取得やスキルアップを促進し、研修等…とあるんですけども、これは年に、例えば何月何月にあるとか何か決まりがあってやってらっしゃるのでしょうか。

○こども課長

特に定期的というわけではないですけども毎年、年度初めのときには、1度西尾委員の方集まっていただいて、学童クラブを運営していく上での注意事項等々の確認をさせていただいておりますし、また支援員の資格を取る際には、県の研修会の方に参加をさせていただいて、資格取得に努めておりますので、そういったところの研修を行っております。

○竹村委員

この支援員さんが問題にぶつかるときっていうのは、どこに助けを求めていくんでしょうか。

○こども課長

基本的には、こども課に子ども育成担当の職員がおりますので、そちらの職員が窓口になって相談に乗っております。

○竹村委員

放課後の方がいろいろと問題が発生すると聞いておりますので、ぜひ相談に乗って助けてあげてください。

○教育長

他に意見・質問ありますか。

○全委員

なし

○教育長

その他 8 「その他」 お願いします。

○議会運営委員

なし

○教育長

事務局からお願いします。

○教育総務係長

次回の定例教育委員会ですが、4月30日の水曜日、9時30分から701会議室で開催します。
事務局会議については、4月17日木曜日、602会議室で開催します。

○教育長

以上で、3月定例教育委員会を終わりにします。

令和7年4月30日

茅野市教育委員会

教育長

同職務者代理

委員

委員

委員

こども部長